

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	東洋建築史小委員会	主 査 名： 上野 邦一 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠本委員会	委員長名： 吉田 鋼市 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	・アジア各地の建築史研究並びに歴史遺構調査にかかわっている研究者の交流と情報交換、研究成果の公開と共有などを通じて、この分野の発展と向上に資すること。 ・	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 片桐正夫(日本大学)、岡田保良(国土館大学)、西本真一(早稲田大学)、浅川滋男(鳥取環境大学)、上野邦一(奈良女子大)、田中淡(京都大学)、布野修司(京都大学)、野々垣篤(名古屋大学)、重枝豊(日本大学)、中西章(東工大工業高校)、山田幸一(首都大学東京)、黒津高行(日本工大)、徐蘇斌(東大生研)	
設置 WG (WG 名：目的)	『東洋建築史図集』改訂のための WG (主査・片桐正夫)	
2005 年度予算	240,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	シンポジウムを企画
大会研究集会	無
対外的意見表明・パブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 東南アジアの住まいに関わる現地調査が盛んに実施されていて、日本の民家との繋がりとも考察されている。東南アジアの住まいに関わるシンポジウムを実施した。研究交流を進める課題に応えたことができた。 2. 東洋建築史図集の改訂について、執筆担当者候補を選任し、WG レベルで改訂版編集方針を固めた。 3. 4 度の委員会の場を通じて、当分野の情報交換機能は一定程度果たすことができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 海外に活動の場を持つ委員・関係者の多くが、当委員会での意見交換を期待しており、従来の円卓会議およびそれに伴う DB をさらに充実させる必要がある。 2. 図集改訂の実現にむけ、図集編集委員会の立ち上げなどより具体的計画が求められる。